

日生連 Zoom研究会

講演テーマ

向いている方が「前」

講演者

佐藤敏郎氏

【佐藤敏郎講演について】

1963年宮城県石巻市生まれ。国語科教諭として宮城県内の中学校に勤務し2015年3月退職。東日本震災後の2011年5月俳句づくりの授業を行いマスコミ等で紹介される。2016年度の中学校1年生の教科書に掲載されることになった。震災後は防災担当主幹教諭、宮城県の防災教育副読本の編集委員も歴任。

震災当時は女川第一中学校に勤務。津波で大川小6年の次女を亡くす。2013年末に「小さな命の意味を考える会」を立ち上げ、全国各地で講演活動を行う。2015年からは、震災当時小学生だった高校生が若者とディカッションを行う企画「あの日を語ろう、未来を語ろう」を各地で展開。2016年「16歳の語り部」（ポプラ社）を刊行、「平成29年度児童福祉文化賞推薦作品」を受賞。小さな命の意味を考える会代表、NPOカタリバアドバイザー、ラジオのパーソナリティーとしても活動中。

『生活教育』2021年8,9月号に「向いている方が『前』」を寄稿し読者の心を深部から揺さぶった。全国どこでも「被災地」になり得る時代。コロナ禍という新たな自然災害にも苛まれている私たち。21世紀を生き抜くために、3.11をどのような学びに変えていくべきなのかを考えます。被災地の子ども達はどのように向き合い生きてきたのか。どのような未来に向かおうとしているのか。そして大人の役割とは何か？

日時：9月25日（土）

19:00～20:30

主催：日本生活教育連盟

参加費：500円

問い合わせ先

日生連研究部（田村）

nisseiren70kinen@gmail.com

参加方法

- * 「Peatix」にてチケットを販売します。
- * 当日はZoomを使用します。
- * Peatixでチケット購入された方へ、ZoomのURL等がお知らせメールで届きます。

日本生活教育連盟HP

<http://nisseiren.jp/>